

適正な採水時間帯を決めるための時間帯別調査について

資料7

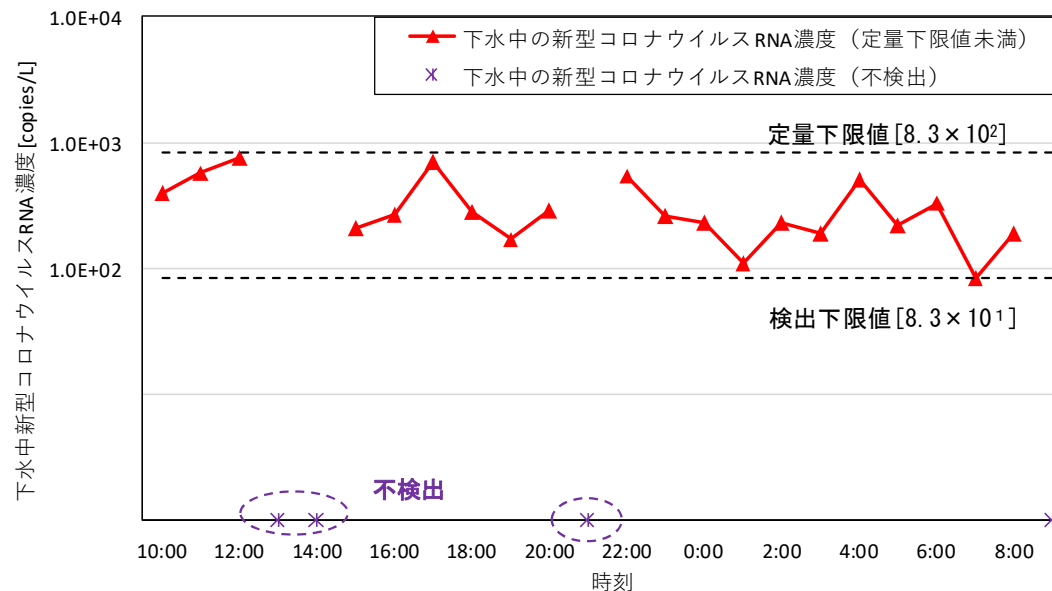
●対象：仙台市南蒲生浄化センター

- 平均処理水量：約275,000m³/日
- 下水処理場流入水BOD負荷変動としては朝よりも午後～夜のほうが高い値となっている。
(市提供・24時間調査結果より)

●調査方法

下水処理場流入水に対し、1～2時間おきに24時間分の採水を行い、それぞれの試料に対して新型コロナウイルスRNA濃度の分析を行う。

●時間帯別分析結果



※分析手法：沈殿物抽出法（仮称）

- 新型コロナウイルスRNA濃度の変動としてはほぼピークが無いものの、0時以降はやや濃度が下がるため、当該処理場においては日中に採水を行うことが望ましいと考えられる。
- 今回調査した処理場は中～大規模であるため、他の水質と同様に時間変動が少ないと考えられる。

